

令和5年度 あいさんハウス事業報告

【令和5年度重点目標】

1. 健全かつ実効性のある組織体制
2. 職員の総合的な資質の向上
3. 安定した・事業収入の確保

【運営計画】

1. 健全かつ実効性のある組織体制

① 組織体制の整備

- ・法人の経営方針を具現化し、現場の職員が迷いなく適切なサービスを提供するために、組織の意思決定体制、危機管理体制を構築。
- ・各委員会活動の目的や活動内容を明確にし、委員会には管理職がオブザーバーとして、参加することで、より客観的な視点で判断し、進捗状況を把握しながら、職員からの積極的な発信を意識させ、会議を良い方向に導き会議の効率化・充実化、質の向上に繋がった。

② 組織力の強化

- ・大地震等の自然災害や感染症のまん延等をはじめとした突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても重要な事業を中断させない、または中断せざるを得なくなった場合であっても、可能な限り短い期間で復旧させるための方針・体制・手順書等を作成。防災委員会を中心にBCPの随時の見直し及び全体周知を図り、一人ひとりが行動できる体制を整備。

③ 各種システム運用の見直し

- ・「効率化」や「支援の質向上」について委員会・会議等で意見を出し合い、利用者の安心と快適、職員の満足度向上を目標に業務の効率化・共有化を徹底。
- ・スムーズな運用を図るため、随時システムのカスタマイズを実施。

④ 各種法改正への対応

- ・第三者評価受審結果をもとに、現状を把握し改善すべき課題の整理を行い、問題意識の共有、サービスの質向上に努めた。
- ・障がい者に対する、虐待防止や身体拘束等の適正化のための法律が義務化されたことを踏まえ、「虐待防止・身体拘束等廃止適正化委員会」を軸として、具体的な取り組みを明確にし、指針の見直し等、委員会が中心となって各部署に発信し続ける体制を構築。

⑤ 適切な修繕計画の作成と設備更新の実行

安全で快適な施設環境の維持を図るため、物理的劣化、社会的劣化、利用特性等や目標運用(1.緊急性 2.重要性 3.単独性 4.補助金の要件等)において、予算や補助金の取得など設備・修繕5か年計画に基づき計画的に実施。

2. 職員の総合的な資質の向上

① 研修や会議を活用した人材育成

- ・一人ひとりの職員が職位における役割を理解し、必要な能力を身に付け、役割を十分に果たすことで、組織全体のチーム力向上に努めた。
- ・自己啓発活動を積極的に支援し、専門性を高めることで職員の資質向上に繋げた。
介護福祉士合格者 4 名。
- ・常に新しい知識や能力の獲得に向け、施設内研修の充実を図るとともに、施設外研修にも積極的に参加。
- ・「権利擁護委員会」を中心に、「利用者権利擁護指針」、「行動指針」の啓発に努め、人権侵害ゼロの実現のため、職員の専門性、倫理感を高める資質向上に向けた『障がい者の権利擁護・意思決定支援』研修を 1 回実施。

② 人事制度運用の徹底と人材開発の強化

- ・①能力・取り組み姿勢等を公正に評価し、処遇に反映することによる職員意識向上②意識の向上がもたらす業務効率化とサービスの質向上 ③人材の充足、管理職のスキルアップによる組織活性化を図ることを継続。
- ・人事考課面談を通じて上司・部下間の業務における意思の疎通を図り、職場での部下育成環境を整備。

3. 安定した事業収入の確保

③ 稼働の安定および向上への取り組み

〈就労部門〉

- ・就労部門の、カフェ「燦」・パン工房「ロータス」を B 型に移行し、商品力と技術力の向上を図ることで、平均工賃月額 25,000 円以上を達成。
- ・農業事業部においては、水耕ハウスの改修工事を行うことで、レタス等の野菜の生育環境が整い、収穫アップ・顧客増となり収入を確保。

〈生活介護〉

- ・地域・ご家族のニーズに応え、海津方面の送迎エリアを拡大することで、新規利用者獲得・利用回数増に繋げた。

〈放課後等デイサービス〉

- ・保護者懇談会「さんさん交流会」を年 1 回実施。保護者間の交流を図ることで、お互いの不安や困りごとを話し合う場を提供。安定利用に繋げた。
- ・パン工房「ロータス」でのパン・クッキー作業体験を実施。楽しみを増やすことで利用回数増に繋げ、将来の就労の幅を広げる機会となった。

〈共通〉

- ・利用者確保への取り組みとして実習生・体験・見学等を積極的に受け入れた。
- ・ショートステイ利用からの「日中活動」の利用の増加に努めた。